

沖縄県医師会監事就任にあたって



沖縄県医師会 監事 涌上 聖

令和7年4月より沖縄県医師会監事に就任いたしました宜野湾記念病院院長の湧上聖と申します。琉球大学出身の6期（平成4年卒）で、琉球大学医学部第三内科へ入局し、その後ちゅうざん病院にてリハビリテーション科専門医となりました。平成20年より現在の宜野湾記念病院へ入職し、平成24年7月より院長に就任しています。現在は総合診療医の立場で働いています。私はこれまで、中部地区医師会の代議員として、医師会の仕事に携わってきました。代議員会に出席する仕事がほとんどで、日々宜野湾記念病院の院長として地域医療に携わってきました。

昨年6月、沖縄県医師会長に田名毅先生が就任いたしました。田名先生は琉球大学医学部第三内科の同門で、二学年上の先輩（私が浪人したため1歳下）です。大学6年の時、入局先を迷っていた時に、田名先生の声掛けで第三内科へ入局することに決めました。また、昨年、中部地区医師会長に今井千春先生が就任いたしました。今井先生も第三内科の同門で、同年齢ですが先輩にあたります。同門のお二人の先輩方が県医師会長、地区医師会長になられ、何かお手伝いができればと考えていました。その矢先に、中部地区医師会の副会長であられる当院の末永正機理事長から、沖縄県医師会監事のお声掛けがありました。これまで地区医師会の仕事

もほとんどしたことがなかったので、重責を感じたため良いお返事ができませんでした。しかし、何度か末永先生からお声掛けがあり、今井先生からも直接お声掛けがあったため、今年3月に沖縄県医師会監事に立候補することを決断致しました。

理事会に出席して驚いたのが、琉球大学の三学年先輩の當間隆也先生が理事として出席していることでした。なぜかというと、當間先生と田名先生と私は大学時代、野球部に所属して一緒に汗水流した仲だったからです。田名先生は外野を守り、當間先生はキャッチャーで、私はピッチャーでしたので、バッテリーを組んだこともあります。更に驚いたのが、新しい理事として県立中部病院院長の天願俊穂先生が就任したことです。天願先生も琉球大学医学部の野球部出身で、二学年先輩の田名会長の同級生です。大学時代一緒に野球をした仲間が毎週理事会で同席できることが、なんだか不思議な感覚な気持ちです。

監事に就任することになりましたが、仕事内容がよくわかりませんでした。ウィキペディアでは、「監事は『法人・団体の保有財産及び理事の業務遂行状況を監査する機関又は役職である。』とあります。今後私は比嘉耕一監事、豊見山直樹監事と共に、沖縄県医師会の財政状況や業務を監査していきたいと思います。

